



# きぬがさ

東近江市立能登川西小学校  
学校だより No.5  
平成28年(2016年)7月20日(水)

昨日は、ご多用の中、教育講演会・期末懇談会にご出席いただき、ありがとうございました。いよいよ今日で1学期が終わります。この1学期間、保護者のみなさまには、能登川西小学校の教育の推進充実に、また子どもたちの健全育成についてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本日の終業式では、1学期の振り返りと明日から始まる夏休みに向けて、子どもたちに次のような話をしました。一部紹介します。

## ★1学期、みんなで作った能登川西小学校のたからもの

### 伝統のあいさつ運動

西小学校に受け継がれている朝のあいさつ運動。今年度も6年生の子どもたち全員と5年生の児童会の子どもたちが毎朝、校門や昇降口、階段、廊下で声かけを続けてくれました。登校班のみんなでも声を揃えてあいさつをしたり、ひとりひとりの名前を呼んであいさつをしたり、いろいろな工夫も見られ、元気のよいあいさつを返せる子が増えてきました。

### 練習を重ねてつくり上げた音楽集会

各学年が声と演奏を合わせて素敵な発表をしてくれた音楽集会。当日、たくさん拍手やお褒めの言葉をいただいたのは、毎日毎日練習を頑張ったからです。みんなで「成功させよう」「いい発表を作り上げよう」と気持ちをひとつに取り組んだことが何よりも素晴らしいことです。

### 全校みんなで仲良くたてわり活動

たてわり活動も能登川西小学校の伝統のひとつです。たてわり遠足の後、始まった毎週金曜日のたてわり遊び。大きい学年の人が下の学年の人に優しく声をかけたり、遊びのルールを教えてあげたり、どの班も仲良く楽しく活動する姿が見られました。



## ★一人ひとりのがんばりのたからもの

「漢字練習をがんばった」「たくさん発表できるようになった」「クローラーが上手にできるようになった」など、自分の1学期を振り返って、がんばったこと・できるようになったことを是非お家の人に伝えましょう。そして、自分の1学期のがんばりのたからものを今後の大きな自信にしてほしいです。

## 明日から夏休み…

### ★「〇年生の夏のがんばりのたからもの」をつくろう！

まずは、「こんな夏休みにしたい」「〇〇をがんばりたい」などというめあてを持ち、計画を立てましょう。そして、その計画にしたがって、1日1日を大事に過ごしてほしいです。〇年生の夏休みは1回だけです。「ぼくの〇年生の夏休みは〇〇〇をがんばった」「わたしの〇年生の夏休みは〇〇〇ができるようになった」という夏のたからものをつくりましょう。

この夏休みが2学期につながる39日間になるよう、202人の子どもたちのがんばりを期待しています。

### お世話になります！

#### 親子勤労体験活動

8月27日(土) 8時30分開始 \*雨天の場合は、8月28日(日)  
残暑厳しい中での作業となりますが、学校の環境整備にご協力よろしくお願いします。

明日からいよいよ39日間の夏休みに入ります！

夏休みは親子のつながりを深める機会です。有意義な日々には！

普段よりは「子どもの心に向かい合う」「子どもの心にふれる」「子どもと共有する時間と空間」は多くなります。この夏休み、少しでもお子さんと一緒にふれあう時間をもつていただき、「親子の絆」をより深いものにしていただければと思います。

### 親子での体験

親子でどこかに行く（図書館、博物館など）、親子で一緒に何かをする（ラジオ体操、読書、料理など）等、子どもたちは親と一緒に何かができることを喜びます。

### 親子のあいさつ

朝起きたら「おはよう」、寝る前は「おやすみ」という親子のあいさつのある1日にしたいです。家でしっかりあいさつができていますと外でもちゃんとあいさつができる子どもになります。あいさつは、人と人、親と子の間に潤いを与えてくれるものです。

### 親と子の対話（会話）

子どもの心の中は、会話をするによって見えてきます。また、話の中で、人生の先輩として自分の今までの歩みや経験を話してあげたり、今の心の内を話してあげたり、これからの生き方や希望を語ってあげることは、子どもの将来にとって大変大事なことです。

夏休み中も、子どもをこんな「親の目」で見たいです。

『親』という字は、「木の上に立って見る」と書きます。高いところから子ども全体を見る、広い視野、寛い心で子どもを見ることが大切です。そこで、子どもを見る「親の目」にはどんなものがあるのか、考えてみました。

### 期待の目

子どもは親から「期待」されているという意識をもつようにすることが大切です。

期待過剰は子どもに負担になりますが、関わってもらえない、知らん顔をされているのは寂しいものです。自分を高めよう、よくしようという意欲を失っていきます。

### 是認の目

人間は誰でも長所と短所の両方を持ち合わせています。しかし、親はどうしても短所に目をやりがちになります。そうではなくて、寛い心でもっと長所に目をやって認めてやることで短所をよくしていこうとする最善の方法であるかも知れません。

### 支援の目

子どもは子どもながらに一生懸命にやっています。その姿に、精神的な支えの手をさしのべてやる必要があります。支援のあるなしで1+1は2ではなく1であったり、3にも4にもなったりします。

### 好意の目

人間は人から好かれると、その人を受け入れようとする意識が自然のうちにはたります。親から好かれる子どもは親を受け入れようとします。そうすると、親も注意しやすくなり、また、子どもも素直に注意に心を傾けてきます。好意の目は、親子のよりよい人間関係の基礎になります。

### 激励の目

「励まし」は親のしなければならぬ大切な愛情表現のひとつです。子どもの心はいつも微妙に揺れ動いています。そして、子どもは、いつも親からの「励ましの声」をかけてほしいと願っています。何気ないちょっとした励ましは、大きな勇気づけになり、意欲を高めます。また、向上心を育てることにもなります。

子どもは、親のことばに励まされて、自分は認められ、愛されているのだと感じます。親のほめことばは、子どもの心の栄養源です。



### 2学期の 主な行事予定

9月17日(土)	運動会(雨天順延)
10月18日(火)	学習参観
11月7日(月)	アルミ缶回収事業・フリー参観
11月17日(木)	マラソン大会(雨天順延)
12月19日(月)～21日(水)	個別懇談会